

公安委員会定例会議(第21回)の開催状況

第1 日 時 令和4年8月24日(水)

午後1時30分 ～ 午後4時45分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、渡部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 曾我部委員説示

本日は、「考える」ことについて話します。

有名な数学者である広中平祐氏の著書「学問の発見 数学者が語る『考えること・学ぶこと』」の中に、「自分は幼い頃、非常に好奇心が旺盛な子供だったため、母親に何もかも質問していた。しかし、母親からは『私にはあまり学がないのであなたに教えてあげることができない。自分で調べて学び、理解できるようになれば立派ですよ』と言われたため、何でも自分で調べ、考える癖を身に付けたことが、今、数学者であることにつながっている」という話がありました。

人生においては、自分で考える習慣や癖を身に付けて物事に対処していくことが非常に大事です。数学においても、最初から最後まで解き方を教えることが親切ではなく、本当の親切とは、相手に解き方を考えさせて、実際に解かせてみるのが一番大事だということです。

つまり、部下職員や若手職員を育てる方法としては、簡単で手間も省けるため自分で処理してしまうのではなく、考えさせて結論を導き出すという経験を積ませる、様々な物事に組みこませることが、人間として成長する上でも最も重要ではないかと思えます。

警察業務においても、人材育成に関する様々な施策に取り組んでいると思いますが、今後の参考にさせていただきたいと思えます。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和4年第20回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情申出の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情申出の受理について伺いがあり了承した。

(3) 審査請求の申立て(2件)

警務部から、審査請求の申立てについて伺いがあり了承した。

(4) 指定自動車教習所に対する受験資格特例教習の指定

交通部から、指定自動車教習所に対する受験資格特例教習の指定について伺いがあり了承した。

(5) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果13件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和4年上半期の警察相談受理状況

総務室長から、令和4年上半期の警察相談受理状況について報告があった。

委員から、「県民にとって警察は最後の砦である。相談件数が増加しているが、組織全体でしっかり相談内容等を検討しながら、県民の声に真摯に向き合っていたいただきたい」との発言があった。

委員から、「中には事件の未然防止につながる相談もあると思う。相談の内容を踏まえつつ、迅速かつ的確に対応していただきたい」との発言があった。

(2) 署における各種申請受付時間の短縮の試行

警務部長から、署における各種申請受付時間の短縮の試行について報告があった。

委員から、「従来の申請受付時間が変更されることにより、戸惑いや不便を感じる県民もいることから、事前周知に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「受付時間の短縮とともに業務の効率化にも努めていただきたい。また、県警ホームページ等を活用した積極的な広報活動に取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「試行の分析結果等を踏まえ、最終的に県民のニーズに十分配慮して運用していただきたい」との発言があった。

(3) 愛媛県警察通信指令競技会の開催結果

生活安全部長から、愛媛県警察通信指令競技会の開催結果について報告があった。

委員から、「競技会に参加することで、参加者個々の能力向上のほか、県警全体の底上げにもつながる。引き続き、コロナ感染対策に万全を期しながら訓練に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「緊迫した現場で実力を発揮するためには日々の訓練が重要である。改善すべき点について分かりやすく指摘するなど、今回の経験をしっかり今後活かしていただきたい」との発言があった。

(4) 海外事業投資名下にかかる金融商品取引法違反事件の検挙

生活安全部長から、海外事業投資名下にかかる金融商品取引法違反事件の検挙について報告があった。

委員から、「一つの警察相談が突破口となって検挙に至ったことは捜査員の努力の賜である。引き続き、同種事件の取締りを推進していただきたい」との発言があった。

委員から、「小さな糸口から大がかりな事件解決に至ったことは地道な捜査の積み重ねの成果である。今後、類似の事件が発生しないように広報啓発活動にも積極的に取り組んでいただきたい」との発言があった。

(5) 運転免許学科試験オンライン予約システムの運用開始

交通部長から、運転免許学科試験オンライン予約システムの運用開始について報告があった。

委員から、「運転免許受験者の多くが若年層であるという視点でシステムの運用に工夫していただきたい」との発言があった。

委員から、「混雑を大幅に緩和できる優れたシステムであるので、積極的に広報活動に取り組み、県民に周知させていただきたい」との発言があった。

(6) 令和4年上半期における航空隊活動状況

警備部長から、令和4年上半期における航空隊活動状況について報告があった。

委員から、「様々な形態での出動要請を想定し、日々の訓練にしっかりと取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「日常点検や定期点検による機体整備を徹底するほか、事故の絶無に向けた各種訓練を繰り返し実施していただきたい」との発言があった。

委員から、「航空隊は捜査や救助活動等に欠かせない存在である。様々な要請に対応できるように運用体制の確保に努めていただきたい」との発言があった。

(7) 苦情の受理及び処理状況

総務室から、令和4年7月末現在の苦情の受理及び処理状況について報告があった。

(8) 公文書の管理状況

警務部から、公文書の管理状況について報告があった。

(9) 定年延長に係る条例改正

警務部から、定年延長に係る条例改正について報告があった。

(10) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(11) 訟務案件に関する報告

警務部から、訟務案件に関する報告があった。

(12) 大洲市菅田町における郵便局強盗事件検挙

刑事部から、大洲市菅田町における郵便局強盗事件検挙について補足

説明があった。

4 その他

- (1) 刑事部長及び生活安全部長から、8月22日に発生した新居浜市繁本町における殺人未遂事件の概要について報告があった。
- (2) 本部長から、「警察官は、一人で現場対応しなければならない場面に遭遇することがあるが、マニュアルにないから対処できないという言い訳は許されない。委員説示のとおり、警察官はいかなる現場でも一人で考えて行動・対処できることが求められることから、学校教養等のあり方を絶えず見直すとともに、様々な教養や訓練等の機会を通じて必要な知識や技術を修得させたい」「署における各種申請受付時間の短縮については、試行期間の中で、どのようなメリット・デメリットがあるのかについて、よく見極めながら判断してまいりたい」との発言があった。

以 上